

## 第40回 一宮市地域公共交通会議議事録

### 【開催日時】

令和5年10月12日（木） 9:30～12:00

### 【開催場所】

オリナス一宮 3階 多目的ホール

### 【傍聴人】

6人

### 【議事内容】

#### 1. 開会

#### 2. 議題

##### 報告事項

##### (1) 公共交通に関する住民懇談会について

事務局より公共交通に関する住民懇談会について説明

《追加説明》

・可能な限り住民懇談会には参加しており、今後も継続的に開催する地域においては、関与していきたい。また、計画策定後も、路線見直しや懸案事項があれば、継続して開催してほしい。このようなことも計画に盛り込みたい。(会長)

##### 協議事項

##### (1) 第3次一宮市公共交通計画について

■事務局より第3次一宮市公共交通計画について説明

《意見・要望》

・欠席された方には、委任いただいているか、別途確認していただきたい。

○事業⑥「タクシー運用の高度化・環境整備」について

《意見・要望》

・昨今、テレビ等でも乗務員不足の問題があげられており、春から厚生労働省主導による法改正もある。一方、市民からの要望もあり、iーバスミニの改善があげられている。タクシー事業の規制緩和について、次のとおり提案する。1つ目は、普通免許の方の活用である。二種免許が必要であるが、このような方をiーバスミニの乗務員として活用できないか。2つ目は、外国人労働者の活用である。供給の方策については、交通事業者と議論が必要である。また、江南市に限らず、周辺市と一体化した議論も必要であるため「隣接市」として記載いただきたい。加藤先生の資料にもあるが、多様な取り組みを実施しているが、体系だっていない。また、市民の皆さまにも現状をご理解いただき、乗換をしていただくなど、地域の皆さまの協力を頂きながら、タクシーの通常営業に負荷がかからないよう、過度なサービス供給とならないよう、進めていく必要がある。

○事業①「質の高いサービスレベルの実現」について

《意見・要望》

・色々改善していただき、ありがとうございます。市のかかわり方について、弊社が独自で維持している路線について、市の介入の検討はありがたいが、民間事業者としてお約束できるものではないため、ご配慮をいただきたい。また、10月1日に運賃改定をしたが、その目的として、乗務員の待遇改善を挙げている。運賃増加を乗務員の給料に反映する必要があり、そのような状況下で事業増加は、お約束できる内容ではないことをご留意頂きたい。

・市のかかわり方について、介入して協議をしたいという事であるが、事業者から維持が無理との報告をいただき、市としてサービスレベルを検討し、必要であれば事業者と

協議していくという事を記載してはどうか。また、サービスレベル維持は難しいが、協定を締結するのであれば、サービスレベルの協定ではなく、協議をすることを締結してはどうか。お互いに情報共有、協議する場を定期的に設けることが重要である。市としても予算が必要であり、早めの情報共有が重要である。ただし、協議結果は別問題である。

・「介入」という単語は、大変強い言葉である。そのため、協議する場について協定を締結してはというご提案であった。一宮市では、これまでも継続して利用者数を会議で報告している。ただし、これをどのように改善していくかの議論まではつなげていない。議論までが重要であり、事業、評価につなげていく必要がある。前回も指摘したが、「検討」という単語が残っているため、再検討していただきたい。

#### ○事業⑨「お得で便利な乗車券の提供」について

##### 《意見・要望》

・おでかけバス手形について、運賃など引き続き検討をお願いしたい。

#### ○事業⑬「ドライバー確保に向けた取り組み」について

##### 《意見・要望》

・ドライバー不足に関する取組について、非常にありがたい。

・新潟市の事例であるが、市と事業者が協定を締結して運行しているが、乗務員不足により、運行が維持できなくなった。運賃をあげたが、乗務員不足が解消されていない。このように以前と異なり、協定を締結しても、継続できない状況になっている。利用者側、行政側からみると、サービスを維持していきたいと考えており、このあたりをどうするか、明確にする必要がある。

### ○目標3について

#### 《意見・要望》

・公共交通を支えることを市民も思うことが重要である。そのため、市民に担い手になってもらうというメッセージ性が重要であり、市としてお出かけ環境を維持していることを宣言する必要がある。したがって、基本方針や目標というよりは、「一宮市おでかけ宣言」などの方が良いのではないか。そのうえで、何が必要かということに記載してはどうか。現在の目標123では、実現していかないのではないか。限られた乗務員、補助金などをどのように効率的に活用するか、また、立地適正化計画に即し、バス乗継も可能なタクシー拠点を地域に設置していく必要があるため、このようなことも考えていく必要がある。現状のままでは無理であるが、どうやったらできるようになるか、ご意見をお願いしたい。

・素晴らしい公共交通が運行されているため、周辺市からも一宮市へ流入してもらえるような要素があると良いのではないか。事業者目線からみると、23ページに、「事業者の収益性を考慮した見直し」との記載があるが、運賃増加も大事であるが、それだけではないような評価も必要ではないか。

### ○事業⑤「iーバスミニの見直し」について

#### 《質疑応答》

・iーバスミニに市民乗務員を活用との提案があった。必要であれば、NPO法人等による自家用有償運送での運行が必要と考えていたが、今後の見直しで、事業者にて直接雇用して市民を活用できるようになる。限定された地区での運行であれば、可能ではないかとの提案である。タクシー事業者からの貴重な提案であり、23ページに記載してはどうか。また、運賃見直しに意味はあるのか。収益性の考慮にはつながらないように思うが、事務局としてどう考えるか。

→表現として分かりにくい部分もあるが、複数事業者の参入を期待し、運賃見直しとして記載した。(事務局より回答)

・委託費について見直しを行うということであれば、良いのではないか。運賃をあげる目的もあるのか。

→ご提案いただいた通り、委託費の適正化が目的であり、委託費の見直しの方向で検討したい。(事務局より回答)

#### 《意見・要望》

・iーバスミニは、一宮駅から離れたエリアを短距離運行としているため時間がかかるが、迎車料金を取っていないことが問題である。また、運賃をあげても乗務員不足であり、解消はできないという構造である。そのため、運賃見直しは関係ない。拠点化による効率化などが重要である。タイトルには受益者負担の適正化とあり、内容は事業者の収益性とあり、かみ合っていない。

・iーバスミニの運賃見直しの前に、イオン木曾川線の運賃の見直しが必要ではないか。何が重要か、一宮市としてどのようにしていきたいか、明確に見えない。政策の決定は市であるため、市長や議員にも同様な意識共有が必須である。そのためにも、まずは事務局での意思統一が重要である。

・スケジュールにおいて3年間も見直し内容の調整となっているが、全く危機感がない。認知度が非常に低い、利用するにはハードルが高いため、すぐにでも対応していく必要がある。名鉄バスの路線についてはどうか。

→新潟の事例を出していただいたが、一宮市では協定の話は出ていないため、判断はできない状況である。時期的な話について、乗務員不足の中、計画通り進められるかどうか疑問はある。また、20ページでは「介入する」など市の思いを記載いただいたが、民間事業者と行政のタイムスパンは全く異なるため、行政のタイムスパンで進めると、対

応が遅い場合が懸念される。(名鉄バスより説明)

・十分に議論し、無理強いする方向ではなく、できることを進めていく方向でお願いしたい。

○概要版について

《意見・要望》

・目標123から事業まで、フローチャートを作成していただきたい。表紙は、現状や問題、計画策定の意義を記載、開くと左から事業者、評価など概要を記載し、裏に会議開催や市民参加の方法などを記載してはどうか。

■事務局より評価指標・目標数値について説明

《意見・要望》

・iーバスミニについて、多くの議論があったが、目標値には含まれていない。計画全体で齟齬が生じているのではないか。特に、iーバスミニのような、この計画でしか取り組まない事業については、きちんと評価できるようにする必要がある。

・補助金をいただいている路線については、数値を出しているが、民間で独自に運行している路線については、数値を出していない。そのため、そこについては、行政と議論が必要と考えており、ご配慮をいただきたい。

・一宮市内の路線については、これまでも年間利用者数は提出していただいている。ホームページに会議資料は掲載されているか。傍聴できる方は限られているため、是非掲載していただきたい。また、過去の会議もアーカイブされていることが大事である。

→会議資料について、現在ホームページでは公開していない。(事務局より説明)

・公開会議であり、原則掲載をお願いしている。どのように情報を出していくか、どのように意見を把握するか、これも、計画に記載してはどうか。ただし、民間事業者の利

用者数等は事業者の意向を配慮する必要がある。また、住民だけではなく、外からの来訪者が重要との意見があったが、千客万来、沢山の方に一宮に来ていただく事が重要であると、前会長の吉田先生のご意見とも重なる。「尾張の雄にふさわしい公共交通づくり」でもよいが、歩きやすくするだけでなく、いかにこの街を魅力的にするのかが重要である。

#### ■事務局より計画の評価・検証について説明

##### 《意見・要望》

・計画全体の評価および各事業者の評価を粛々と進めるに尽きると考える。大切なのは、数字だけ見がちであるが、そうではなく、考察することが重要である。なぜ、数値が変化したか、それに対して何ができるかを議論し実践していくことが必要である。公共交通を良くする機会として捉えて、毎年評価に取り組んで頂きたい。

・先ほどご指摘いただいた通り、路線別の総利用者数については、提示している。

・公共交通会議が年に2回実施は少ないのではないかと。回数が少ないため、毎回の会議時間が長くなる傾向にある。また、案件が多いため時間も要する状況である。意見交換だけで1回開催するなど、他都市では、柔軟に運用している。課題に対し、どのような議論が必要か、この2回だけで議論できるのか、確認していただきたい。例えば、この2回は定例にし、本会議だけではなく、幹事会も活用して構成してはどうか。

→計画の評価については、この2回で実施したいと考える。ただし、この状況を改善すべく、ご提案いただいた内容を踏まえ、検討したい。(事務局より回答)

・誰がこの計画に責任を持つのが不明瞭である。本来、計画は実行する人がこうしたという明確な意思表示を行うことである。我々は外部から承認をする役割を持っている。そこが曖昧になっているのではないかと。そのため、良い意見が出れば市として採用し、難しい意見であれば方向性の説明を持って採用しないことも出来る。市としての思

いを明確に示していただくことで、協議もコンパクトになる。みんなで決めても見た目はきれいであるが、責任はとれない。例えば、会議4回を示すと、会議開催することが目的になるといった懸念がある。

・2年間も期間があったが内容が詰められておらず、大変抽象的な計画である。例えば、iーバスミニについて、計画終了後の令和11年においても、現在とほぼ変わらない運行が継続しているのではないかとの懸念がある。

#### ■事務局より第3次一宮市公共交通計画素案の決議について説明

##### 《質疑応答》

・本日の会議で決議し、12月にパブリックコメントとあるが、どのように進めていくのか。

→パブリックコメントについて、期間が1か月以上と定められているため、12月1日から年明けまでを想定している。また、プレスリリースや市の議会への報告等を11月に想定している。(事務局より説明)

・議会へ報告し意見が出た場合、反映するのかなどの記載がない。また、本会議で多くの意見が出たが、この修正への対応は、会長一任か、幹事会を開催するのか、どう考えているのか。

→12月中旬にはパブリックコメントを実施したいと考えている。一方、本日の会議において沢山ご意見を頂戴したため、もう1回会議を開催したいと考える。ご都合がつかない場合は書面開催も考えられる。(事務局より説明)

##### 《意見・要望》

・参考資料について、今後の業務遂行のために活用したいとの発言があったが、大変失礼である。計画策定のために、また公共交通を良くするために、ご意見をいただいた。



これを反映していく必要がある。

→計画策定に反映するよう、訂正させていただく。(事務局より回答)

・本来、本日の会議で決議いただくはずであったが、会長からも陳謝したい。本当にこれで良いと考える計画にはなっていないため、再度の開催は必要なことだと考える。次回会議までに、議論内容を示していただき、そのほかの内容については一任していただくなど、論点を明確にしていきたい。「検討」をできる限り少なくしたい。また、多くの意見をできる限り反映したい。

・2月には運輸局への報告があるため、1月中旬には会議を開催する必要がある。逆算すると、パブリックコメントは12月中旬には開催する必要がある。

・補助金に関係になるが、iーバスミニが補助を受けている関係で、事業主体を記載していただきたい。

→ご指摘通り、記載する。(事務局より回答)

・11月に会議を開催することを前提として、本日は決議を行わないこととしたい。また、パブリックコメントは、計画書と概要版を示すことで良いか。

→計画書と概要版をパブリックコメントの対象とする。(事務局より回答)

### 3. その他

### 4. 閉会